令和7年度

地域の障害児に対する支援体制の状況および中核機能としての体制の確保に関する取組の実施状況

姫路市立こども発達支援センター

	基本要件・確認事項	取組の実施状況
1	市町村および地域の関係機関との連携体制を確保しているか。	自立支援協議会こども部会、事業者部会や医療的ケア児担当者連絡会等に参加している。
2	幅広い発達段階および多様な障害特性に応じた専門的な発達支援および家族支援を提供する体制を確保しているか。	保育所等訪問支援の指定を有している。 乳幼児期から学齢期まで、障害種別に制約されず、必要な時期に必要な支援を多職種で行っている。また、保護者向け講座を適宜開催している。
3	地域の障害児通所支援事業所との連携体制を確保しているか。	地域の障害児通所支援事業所等が参加できる研修会を実施している。 ・令和7年6月29日、7月23日　基礎講座 ・令和8年1月18日　事例検討会 発達に関する専門的な助言や意見を希望する保育施設、幼稚園、放課後児童クラブ、障害児通所支援事業所等へ専門職が訪問し、施設職員への助言を行っている。
4	インクルージョンの推進体制を確保しているか。	保育所等訪問支援の指定を有している。 発達に関する専門的な助言や意見を希望する保育施設、幼稚園、放課後児童クラブ、障害児通所支援事業所等へ専門職が訪問し、施設職員への助言を行っている。
5	入口としての相談機能を果たす体制を確保しているか。	障害児相談支援の指定を有している。 令和7年4月より、市内の就学前のこどもの発達に関する相談窓口として開設された「はぐくみ相談室」と連携を図りながら、必要な支援の提供に努めている。
6	地域の障害児支援体制の状況および基本要件に関する取組の状況を概ね年に1回以上公表しているか。	令和7年度については、令和8年11月よりホームページで公表している。 令和8年度実績は令和9年5月頃公表予定。
7	自己評価の項目について、外部評価を概ね年に1回以上受けているか。	令和8年1月22日に、第三者を交えたサービスに関する自己評価（保護者評価含む）を実施した。
8	従業者に対する年間の研修計画を作成し、当該計画に従い、1年に1回以上研修を実施しているか。	年度当初に研修計画を策定して実施している。 ・職員全体研修（令和7年11月13日） テーマ「意思決定支援」 ・伝達研修（月2回程度）